

2015年第2四半期（4月～6月）における海外安全対策情報

1 社会・治安情勢

(1) 昨年9月豪州政府は、イラク・シリアにおけるISILの動きや外国人戦闘員の問題を受け、国内におけるテロ警戒レベルを「最高位」「高位」「中位」「低位」の4段階中、「中位」から「高位」（上から2番目）に一段階引き上げた。またISILは、豪州を含む対ISIL連合国において、市民を攻撃するよう支持者を扇動する声明を発出している。関連性は不明であるが、昨年12月シドニーにおける人質拘束事件が発生しており、今後も同様の事件が発生する可能性は否定できないことから、注意が必要となっている。

豪州政府は、必要な警戒態勢は警察等がとっており、一般市民はこれまでどおりの生活をするよう呼びかけているが、引き続き最新の情報の入手や安全対策に努める必要がある。

(2) ACT（首都特別地域）内における治安情勢については、全般的に安定しているが、議会等の警備が強化されている。

(3) 一般的に、対日感情は良好であるが、日本の調査捕鯨・イルカ漁に対し、一部の環境・動物愛護団体を中心として、引き続き、強い反対感情がある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 昨年同時期と比較し、ACT全体の犯罪発生件数は5.3%減少した。

(2) 特に性的暴行は19.4%、暴行は8.8%と大幅に減少している。

(3) 逆に車両盗難は32.4%、強盗は10.2%と大幅に増加している。

(4) 地域的にはCanberra's South地域が増加傾向にあり、Weston Creek地区が33.7%、Tuggeranong地区が16.3%増加している。また、人口の増加が顕著なMolonglo地区は170.3%と大幅に増加している。

(5) なお、当該犯罪統計によれば、ACTにおける2015年第2四半期の犯罪発生件数は以下のとおり。（ ）内は、前年同時期の発生件数を示す。

・殺人、殺人未遂	:	2件	(0件)
・暴行	:	420件	(440件)
・性的暴行	:	76件	(68件)
・対人犯罪	:	18件	(24件)
・不法目的侵入	:	665件	(571件)
・強盗	:	44件	(31件)
・窃盗	:	2751件	(2176件)
・車両盗難	:	282件	(185件)
・器物損壊	:	1311件	(957件)

(6) 窃盗（1件）、車上荒らし（2件）が在留邦人から報告されているが、現地警察は、特に邦人を狙ったものではなく金品目的によるものと認識している。

3 テロ・爆弾事件発生状況

- (1) 昨年9月、治安当局はシドニー及びブリスベン郊外でテロリストの一斉摘発を行い、豪国内でのテロを準備していた容疑者の身柄を拘束した。
- (2) 同年9月、メルボルン郊外の警察署前において、18歳の少年がナイフで警察官を襲い、重傷を負わせた。同少年はその場で射殺された。
- (3) 同年12月、シドニーのカフェにおいて散弾銃を持った男一人による人質立てこもり事案が発生し、人質2人が犠牲となった。犯人は突入した警察部隊により射殺された。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

邦人被害の事件は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特に認知していない。